ボーリング柱状図

※本資料はふ頭建設時（昭和30年代）の調査結果です。

調　査　名

事業・工事名

ボーリング名	No.8	調査位置				北　緯	
発注機関				調査期間		東　経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP −3.60m	角度		方向		地盤勾配		使用機種	試錐機		ハンマー落下用具	
総掘進長	25.30m								エンジン		ポンプ	

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	10cm毎の打撃回数 0〜10	10〜20	20〜30	打撃回数／貫入量	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 m	試験名及び結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
	−4.10	0.50	0.50		砂質シルト	黒																		
1									貝殻混入			1.10 / 1.40				25/30	25							
2												2.20 / 2.50				36/30	36							
3									所々土丹片混じる			3.20 / 3.50				37/30	37							
4												4.10 / 4.40				29/30	29							
5												5.10 / 5.40				30/30	30							
6					粘土	青灰						6.10 / 6.40				28/30	28							
7									硬質			7.10 / 7.40				31/30	31							
8									貝殻片混入			8.10 / 8.40				37/30	37							
9									粗砂を1〜1.5cmの層をなして挟む			9.20 / 9.50				30/30	30							
10	−14.50	10.40	10.90						硬質			9.90 / 10.20				28/30	28							
11												11.10 / 11.40				27/30	27							
12									貝殻混入			12.10 / 12.40				29/30	29							
13												13.20 / 13.50				25/30	25							
14						青灰						14.10 / 14.40				24/30	24							
15												15.10 / 15.40				21/30	21							
16												16.10 / 16.40				15/30	15							
17					シルト質粘土	～						17.10 / 17.40				14/30	14							
18									砂の互層有り			18.10 / 18.40				20/30	20							
19									腐植物を挟む			19.10 / 19.40				10/30	10							
20						暗褐灰						20.10 / 20.40				21/30	21							
21												21.20 / 21.50				20/30	20							
22												22.10 / 22.40				23/30	23							
23	−26.80	12.30	23.20									23.10 / 23.35				50/25	60 →							
24					泥岩	青灰						24.20 / 24.45				50/25	60 →							
25	−28.90	2.10	25.30									25.10 / 25.30				50/20	75 →							
26																								